宮崎県障がい者スポーツ協会

いちご一会とちぎ大会

第22回 全国障害者スポーツ大会 夢を感動へ。感動を未来へ。2022

令和４年１０月２９日（土）から３１日（月）まで、第２２回全国障害者スポーツ大会が栃木県で開催されました。宮崎県からは、７つの個人競技に２７名の代表選手が参加し、スポーツを通した「一期一会」の出会いを大切にしながら熱戦を繰り広げました。大会は３日間とも紺碧の秋空の下で実施され、本県選手団は、金１０個、銀１１語、銅１２個の合計３３個のメダルを獲得しました。これもこれまでの努力の積み重ねとともに、サポートをいただいたコーチや家族関係者、大きな声援を送っていただいた県民の皆様のおかげであると深く感謝しています。選手一人一人は、これからも「夢を感動へ、感動を未来へ」とつなげていくために、ますますの活躍を誓い合いながら栃木をあとにしました。出場選手の成績は以下のとおりです。

NO	競技	氏名	所属	種目	記録・結果	順位
1	陸上競技	花坂　啓尋	高鍋町	50m	8 秒 35	1
				砲丸投	9m58	1
2		坂本　哲朗	宮崎市	200m	31 秒 51	3
				100m	15 秒 06	4
3		中島貴美子	宮崎市	砲丸投	3m77	1
				ソフトボール投	9m94	1
4		那須　優心	明星視覚支援学校	50m	9 秒 27	2
				1500m	7 分 48 秒 74	5
5		小濵　宙空	都城さくら聴覚支援学校	100m	14 秒 04	8
				走幅跳	3m81	2
6		高妻　直人	みやざき中央支援学校	200m	25 秒 52	6
				100m	12 秒 26	3
7		宮本　颯太	新富町	100m	11 秒 98	1
				400m	53 秒 82	3
8		佐藤　翔悟	高鍋町	200m	27 秒 16	6
				100m	12 秒 96	6
9		兒玉　　翔	みやざき中央支援学校	1500m	4 分 53 秒 50	3
				800m	2 分 25 秒 91	7
10		山田　楓海	延岡しろやま支援学校	200m	31 秒 83	3
				100m	15 秒 39	3
11		松垣　香澄	延岡市	200m	33 秒 32	2
				100m	15 秒 44	5
12		津隈　久輝	延岡しろやま支援高千穂校	200m	27 秒 53	7
				800m	2 分 31 秒 82	5
		高妻直人、宮本颯太 佐藤翔悟、山田楓海		4×100mリレー	49 秒 94	3
13	水泳	甲斐　清美	延岡市	25m 背泳ぎ	42 秒 61	2
				50m 自由形	1 分 19 秒 33	2
14		甲斐野々華	日章学園	50m 自由形	30 秒 81	2
				50m 背泳ぎ	35 秒 18	2

15	アーチェリー	田﨑　庸典	宮崎市	アーチェリー リカーブ 30m	570 点	3
16	卓球	川野　健一	宮崎市	STT	4点	1
17		宮村　京子	宮崎市	一般卓球	3点	1
18		木村　健人	門川町	一般卓球	3点	2
19		工藤　美樹雄	高千穂町	精神卓球	4点	3
20	フライングディスク	南園　勝吉	川南町	アキュラシー5m	7投	3
				ディスタンス	34m14	1
21		黒木　慎一	日向市	アキュラシー5m	9投	2
				ディスタンス	31m60	3
22		森　ミヨ子	えびの市	アキュラシー5m	10投	1
				ディスタンス	19m70	6
23		湯地　翼	みなみのかぜ支援学校	アキュラシー5m	9投	2
				ディスタンス	22m16	7
24		櫨山　海渡	みやざき中央支援学校	アキュラシー7m	8投	1
				ディスタンス	43m64	3
25	ボッチャ	山代　哲夫	小林市	ボッチャ座位	1 勝 1 敗	2
26		吉村　昌彦	高鍋町	ボッチャ立位		
28	ボウリング	酒匂　椎奈	日南市	ボウリング（青年）	522	6

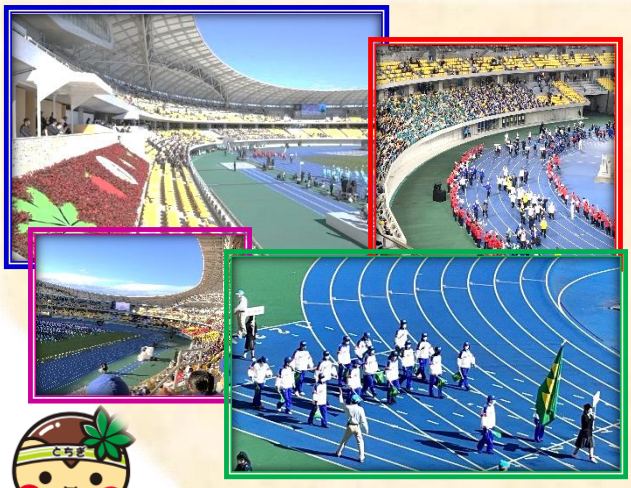
Many kinds of scene

強化練習

９月１１日(日)、第２２回全国障害者スポーツ大会に県代表として参加する選手の強化練習会を、ひなた県総合運動公園内競技施設等で開催しました。各会場では、競技コーチのアドバイスを受け、熱のこもった練習が行われ、全国大会に向けて、選手の士気が高まりました。

結団式

宮崎県選手団の結団式は、１０月２７日(木)に県庁講堂で開催されました。式では、日隈俊郎副知事が、選手団の活躍を期待して激励されました。これを受けて、選手団主将の甲斐清美選手が力強く決意表明をし、多くの関係者の見送りの中、栃木県へ出発しました。



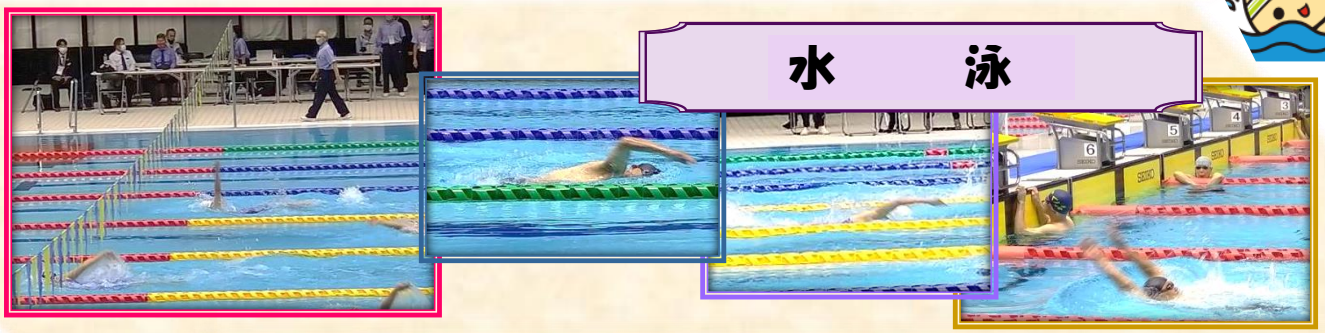
開会式 ・ 閉会式

10月29日(土)宇都宮市のカンセキスタジアムとちぎ陸上競技場で、秋篠宮皇嗣同妃両殿下の御臨席を仰ぎ、晴れやかな秋空の下で開会式が行われました。県選手団は旗手の那須優子選手を先頭に、陸上競技に参加する選手・役員１７名が堂々の入場行進を行いました。また、最終日の11月1日(火)、高円宮妃殿下の御臨席の下、全選手が陸上競技場に集まり、閉会式が行われました。そして、選手それぞれが新たな活躍を誓い合いました。

陸 上 競 技

陸上競技は、カンセキスタジアムとちぎ陸上競技場で実施され、５０m,100m 200m,400m,800m,1500m,砲丸投,ソフトボール投,走幅跳,４×100m リレーの 10 種目に男子８名、女子４名の合計 12 名が出場しました。チームワークもよく、それぞれが各種目で力を発揮し、金メダル５個、銀メダル３個、銅メダル７個を獲得しました。

水　　泳

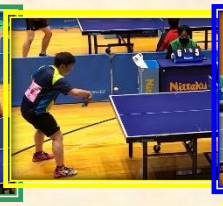


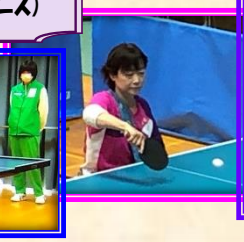
水泳競技は、日環アリーナ栃木屋内水泳場(宇都宮市)で実施され、選手団主将を務める男子の甲斐清美選手と、伸び盛りの甲斐野々華選手の２名が出場しました　25m 背泳ぎ、50m 背泳ぎにそれぞれ出場した後、50m 自由形には２選手とも出場し、競技全で２位となり、銀メダル４つを獲得する健闘を見せました。

ア ー チ ェ リ ー

アーチェリー競技は、那須烏山市にある緑地公園多目的競技場で実施されました。アーチェリーリカーブ 30m の部に田崎庸典選手が西川コーチと二人三脚で試合に臨み、３位の銅メダルを射止めました。そして試合後は、次なる目標をしっかり見定めていました。

卓球・STT（サウンド・テーブル・テニス）





卓球・ＳＴＴ（ｻｳﾝﾄﾞ・ﾃｰﾌﾞﾙ・ﾃﾆｽ）競技は、鹿沼市のＴＫＣいちごアリーナで実施され、男子３名、女子１名の選手が２名のコーチの献身的なサポートを受けて出場しました。試合では手に汗握る熱戦を繰り広げ、金メダル２個、銀メダル１個、銅メダル１個を獲得する成績を収めました。

フライング・ディスク

フライングディスク競技は、栃木市総合運動公園陸上競技場（栃木市）で実施され、男子４名、女子１名の選手が、５名のコーチ・手話通訳者と一心同体となり競技に参加しました。アキュラシー5m,7m の部とディスタンスの部にそれぞれが臨み、金メダル３個、銀メダル２個、銅メダル３個を獲得する活躍でした。

ボウリング

ボウリング競技は、足利スターレーン（足利市）で開催され、酒匂椎奈選手が櫻井コーチのアドバイスを受けて全力で競技に臨みました。メダル獲得は惜しくも逃しましたが、競技終了後は、同レーンで競った他県の選手との交流を深めていました。

ボッチャ

ボッチャ競技は、にしなすの運動公園体育館（那須塩原市）で、秋篠宮皇嗣同妃両殿下が観戦される中で開催され、山代哲夫選手と吉村昌彦選手の２名がペアを組み参加しました。この競技は 2021 年から正式競技に追加され、今回が初出場でしたが、見事なチームワークで競技に臨み銀メダルに輝きました。